

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際文化ネットワークの構築及び文化多様性の保護・促進への対応			担当部局庁	文化庁	作成責任者	
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	文化経済・国際課	文化経済・国際課長 板倉寛	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法第15条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進計画(第1期)(平成30年3月6日閣議決定)		
主要政策・施策	クールジャパン、知的財産			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の文化政策上、意義の深い国際会議等に参画し、関係者間の国際的なネットワークを構築することによって、我が国の文化振興と国際文化交流の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国際会議への参加等 各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議に文化庁国際交流担当官等を派遣する。 ②外国人芸術家・文化財専門家招へい【平成30年度で終了】 諸外国より芸術・文化に優れた業績を残し指導的立場にある芸術家・文化財専門家を招へいし、我が国関係者との意見交換、共同制作及び共同研究等の諸活動を行う機会を設ける。						
実施方法	直接実施						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	16.5	18.5	18.1	16.6	16.6
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	16.5	18.5	18.1	16.6	16.6
		執行額	7	2	7		
		執行率(%)	42%	11%	39%		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	42%	11%	39%		
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	3.4	4.4	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。			
	文化人等派遣旅費	6.2	4				
	庁費	1.5	1.5				
	その他	5.5	6.7				
	計	16.6	16.6				

活動内容 (アクティビティ)	各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議に文化庁国際交流担当官等を派遣する。										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	我が国の文化政策上、意義の深い国際会議等に参加し、関係者間の国際的なネットワークを構築する。	参加する国際会議等の回数	活動実績	回	10	11	11	-	-		
			当初見込み	回	6	7	8	9	7		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	執行額/出張者数			単位当たりコスト	百万円	0.4	0.2	0.5	0.8		
				計算式	百万円/人	7/19	2/12	7/14	16.6/22		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度		
	①政策的意義・波及効果の高い国際会議等へ参加する	東アジア・ASEANにおいて意見交換を行った国数	成果実績	国	12	12	12	-	-		
			目標値	国	12	12	12	12	-		
			達成度	%	100	100	100	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	当該年度における国際会議等(日中韓文化大臣会合、ASEAN+3文化大臣会合等)への参加実績										

単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/招へい者数 【30年度にて終了】		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-	
			計算式	百万円/人	-	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	②被招へい者が滞在中に 積極的に活動を行う(目標 値は招へい人数×滞在日 数で算出)	活動回数【30年度にて終 了】	成果実績	回	-	-	-	-	-
			目標値	回	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	当該年度における被招へい者の人数、滞在日数、活動回数実績								

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策			
		施策		政策評価書 URL	
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項		該当箇所	
			分野:		
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		
			該当箇所		

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、国際情勢や社会状況を踏まえた文化政策上の意義に基づいて、必要な国際会議等への参加を行うものであり、国として対応が求められる政府レベルでの国際会議等への参加を行う事業である。 諸外国との国際文化交流を推進していく上で、国際会議等への参加は優先度の高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	旅費法等を踏まえた適切な水準となっている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	国際会議等への参加、人物の招へいに必要な費目・用途に限定されている。事業実施に必要な費用の直接執行である。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催となった国際会議等(あるいは国際文化交流イベント等)があり、不用が生じている。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	各年度によって参加を要する国際会議に変更が生じることにあわせて、予算内容の見直しを行いつつ、効率的な予算執行に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	国際会議等への参加について目標値を設定し、実績は目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに見合った実績である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	文化政策上の意義に基づいて事業を実施するものであり、事業実施の必要性は高く、資金投入の合理性を確保している。また、国庫支出の在り方についても、旅費法等に基づいて適切に支出している。 なお、新型コロナウイルスの影響により国際会議等はオンラインでも開催されており、参加実績を上げている。	
	改善の方向性	引き続き、文化政策上の意義にかんがみ、中長期的な視点から日本と諸外国のネットワーク構築に資するよう、事業を効率的かつ効果的に実施するよう努める。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の抜本的改善

この事業は、複数年の決算において不用額が多く発生しており、今後の執行においてコロナ禍により事業の実施に影響が出た場合にどのような代替措置を取り得るか検討し予算の大幅な縮減も視野に入れた計画的な予算執行を実施すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

令和2・3年度の不用額は新型コロナウイルス感染症拡大により、実際に海外で開催される予定であった国際会議等に出席することができなかった影響である。令和4年度は国際会議出席のための出張も実施・予定されており、国際会議の対面開催も再開されている。令和5年度以降は、コロナ禍で失われた直接対話を以て国際ネットワークをより強固なものに構築していくべく、国際会議への対面での開催も予定しており、その状況を踏まえた概算要求額となっている。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	407			
平成24年度	432			
平成25年度	396			
平成26年度	395			
平成27年度	392			
平成28年度	375			
平成29年度	383			
平成30年度	387			
令和元年度	文部科学省 - 0348			
令和2年度	文部科学省 0349			
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

文化庁
6百万円

※庁費は消耗品の購入等であり、1件百万円以上の支出はない

国際会議等への参加

[各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議に文化庁国際文化交流担当官等を派遣する]

支出【直接執行】

A文化庁国際文化交流担当官
(全10名)
6百万円

[文化庁国際文化交流担当官や民間有識者の国際会議への参加に係る旅費等を支出。]

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	交通費・滞在費	1.8			
計		1.8	計		0

